

THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)

運用報告書 (全体版)

第1期 (決算日 2018年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)」は、2018年1月31日に第1期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日:平成29年3月1日)	
運用方針	「THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを旨とします。 ②組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み金 期騰落		
(設定日)	円		円		%	百万円
2017年3月1日	10,000		—		—	1
1期(2018年1月31日)	9,773		0	△2.3	100.0	23

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(設定日)	円		%	%
2017年3月1日	10,000		—	—
3月末	9,911		△0.9	100.0
4月末	9,948		△0.5	99.1
5月末	10,021		0.2	99.7
6月末	10,107		1.1	99.9
7月末	9,995		△0.1	94.3
8月末	10,095		1.0	97.1
9月末	10,228		2.3	100.0
10月末	10,275		2.8	100.0
11月末	10,183		1.8	100.1
12月末	10,304		3.0	99.9
(期末)				
2018年1月31日	9,773		△2.3	100.0

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2017年3月1日～2018年1月31日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,773円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、2.3%下落しました。

組入れていたETFの騰落率が、金利上昇や円高を受けて円ベースでマイナスになったことが基準価額の下落につながりました。

投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、8.0%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3－4月、米国債はフランス大統領選挙を控えて質への逃避で上昇したものの、結果を受けて下落しましたが、プラス圏にとどまりました。主にユーロ高によって、非米ドル建て債券も上昇しました。5－7月、米国において経済統計が予想を下回ったことや、トランプ政権の不透明感が広がったこと受け、米国債は上昇しました。米ドル安により、米国を除く世界の国債やハイイールド社債も上昇しました。8－10月、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどより、リスク回避的な動きから債券市場は一時上昇したものの、結果的に深刻な事態には至らなかったこと、トランプ米大統領が緩和的な税制改革案を公表すると伝えられたこと、さらにイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げする方向にあると示唆したことを背景に、世界的に債券は売られました。2017年11月－2018年1月、イエレンFRB議長の「景気拡大がますます広がりを見せている」という発言や、同国の好調な企業決算などを受けて投資家のリスク選好が高まったことから、米国債は下落しました。一方、米ドル安により、非米ドル建て債券は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2017年3月1日～ 2018年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	84

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の金利を享受することを目指します。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	40	0.399	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(33)	(0.324)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.050)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.025)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(6)	(0.059)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.102	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(9)	(0.092)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.010)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.561	
期中の平均基準価額は、10,106円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	千口 23,782	千円 24,113	千口 227	千円 230

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	投資信託の当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）		23,555	23,131

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	23,131	99.7
コール・ローン等、その他	75	0.3
投資信託財産総額	23,206	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）において、当期末における外貨建純資産（23,128千円）の投資信託財産総額（23,166千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	23,206,462	
コール・ローン等	40,689	
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）（評価額）	23,131,216	
未収入金	34,557	
(B) 負債	75,246	
未払解約金	35,019	
未払信託報酬	32,210	
その他未払費用	8,017	
(C) 純資産総額(A - B)	23,131,216	
元本	23,669,348	
次期繰越損益金	△ 538,132	
(D) 受益権総口数	23,669,348口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,773円	

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は22,897,940円、期中一部解約元本額は228,592円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9773円です。

(注) 2018年1月31日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は538,132円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△752,468	
売買益	3,508	
売買損	△755,976	
(B) 信託報酬等	△ 51,169	
(C) 当期損益金(A + B)	△803,637	
(D) 追加信託差損益金	265,505	
(売買損益相当額)	(265,505)	
(E) 計(C + D)	△538,132	
(F) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(E + F)	△538,132	
追加信託差損益金	265,505	
(配当等相当額)	(36,321)	
(売買損益相当額)	(229,184)	
分配準備積立金	164,837	
繰越損益金	△968,474	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(164,837円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(36,321円)より分配対象収益は201,158円(1万口当たり84円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）

運用報告書

第1期（決算日 2018年1月31日）
（2017年3月1日～2018年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：平成29年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		投 資 信 託 証券 入 比 率	純 資 産 総 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	1
1期(2018年1月31日)	9,820		△1.8	100.0	23

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2017年3月1日	10,000		—	—
3月末	9,915		△0.9	99.9
4月末	9,956		△0.4	99.0
5月末	10,033		0.3	99.6
6月末	10,124		1.2	99.8
7月末	10,016		0.2	94.2
8月末	10,121		1.2	97.2
9月末	10,259		2.6	100.0
10月末	10,311		3.1	99.9
11月末	10,223		2.2	100.0
12月末	10,348		3.5	99.8
(期 末)				
2018年1月31日	9,820		△1.8	100.0

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

(2017年3月1日～2018年1月31日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、1.8%下落しました。

組入れていたETFの騰落率が、金利上昇や円高を受けて円ベースでマイナスになったことが基準価額の下落につながりました。

【基準価額の推移】

(2017年3月1日～2018年1月31日)



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、8.0%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3－4月、米国債はフランス大統領選挙を控えて質への逃避で上昇したものの、結果を受けて下落しましたが、プラス圏にとどまりました。主にユーロ高によって、非米ドル建て債券も上昇しました。5－7月、米国において経済統計が予想を下回ったことや、トランプ政権の不透明感が広がったこと受け、米国債は上昇しました。米ドル安により、米国を除く世界の国債やハイイールド社債も上昇しました。8－10月、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどより、リスク回避的な動きから債券市場は一時上昇したものの、結果的に深刻な事態には至らなかったこと、トランプ米大統領が緩和的な税制改革案を公表すると伝えられたこと、さらにイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げする方向にあると示唆したことを背景に、世界的に債券は売られました。2017年11月－2018年1月、イエレンFRB議長の「景気拡大がますます広がりを見せている」という発言や、同国の好調な企業決算などを受けて投資家のリスク選好が高まったことから、米国債は下落しました。一方、米ドル安により、非米ドル建て債券は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、世界中の金利を享受することを目指します。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 6 (6)	% 0.059 (0.059)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	6	0.062	
期中の平均基準価額は、10,130円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	451	54	7	0.844
ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	327	40	31	3
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	393	41	25	2
ISHARES INTERNATIONAL TREASU	5	0.451	5	0.456
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	47	5	23	2
ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	247	21	3	0.264
ISHARES MBS ETF	299	31	29	3
ISHARES 1-3 YEAR CREDIT BOND	8	0.84	8	0.841
SPDR BLACKSTONE/GSO SEN LOAN	443	20	126	5
VANECK VECTORS INTERNATIONAL	359	9	226	5
VANGUARD MORTGAGE-BACKED SEC	298	15	24	1
小計	2,877	243	507	27

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	444	53	5,787	25.0
ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	296	36	3,928	17.0
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	368	38	4,134	17.9
ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	24	2	300	1.3
ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	244	21	2,313	10.0
ISHARES MBS ETF	270	28	3,093	13.4
SPDR BLACKSTONE/GSO SEN LOAN	317	15	1,642	7.1
VANECK VECTORS INTERNATIONAL	133	3	376	1.6
VANGUARD MORTGAGE-BACKED SEC	274	14	1,545	6.7
合 計	2,370	212	23,122	
口数・金額	9	—	<100.0%>	
銘柄数 < 比率 >				

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	23,122	99.8
コール・ローン等、その他	44	0.2
投資信託財産総額	23,166	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（23,128千円）の投資信託財産総額（23,166千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	23,166,024
コール・ローン等	43,603
投資信託受益証券(評価額)	23,122,421
(B) 負債	34,557
未払解約金	34,557
(C) 純資産総額(A－B)	23,131,467
元本	23,555,210
次期繰越損益金	△ 423,743
(D) 受益権総口数	23,555,210口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,820円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は22,782,422円、期中一部解約元本額は227,212円です。

(注) 2018年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・THEO インカム・ファンド（世界の債券中心） 23,555,210円

(注) 1口当たり純資産額は0.9820円です。

(注) 2018年1月31日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は423,743円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	209,075
受取配当金	209,023
受取利息	52
(B) 有価証券売買損益	△959,879
売買益	25,365
売買損	△985,244
(C) 保管費用等	△ 154
(D) 当期損益金(A+B+C)	△750,958
(E) 追加信託差損益金	330,938
(F) 解約差損益金	△ 3,723
(G) 計(D+E+F)	△423,743
次期繰越損益金(G)	△423,743

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。